



# 明倫

舞鶴市立明倫小学校

令和元年8月26日



## 夏休みの虫とりは過去のこど？

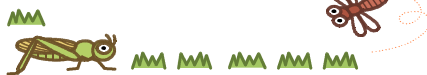
今年の夏は平年並みになるでしょうという予報通りにはいかず、猛暑続きの夏となりました。予定をしていた地域プールもほとんど実施できない状況となり、改めて自然の力の前に、人間の力が及ばないことを痛感させられました。

本日、2学期の始業式に子どもたちは元気な顔で登校してまいりました。たくさんさんの経験をして一回り大きく成長したような気がします。夏休みには地域で様々な行事があり、保護者、地域の役員の方々にご協力いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

先日、虫をさわれない子どもが50%ほどいるというニュースを見ました。以前は夏休みになると虫と触れ合う機会が多くなり、セミとりやカブトムシとりなど夢中になった経験を多くの保護者の方が持っていらっしゃるのではないのでしょうか。都会部では虫と触れ合う機会が少ないので、大人になっても虫をどのように扱っていいのかわからず、さわることさえできない人も多いようです。

虫をさわることによって何か良いことがあるかという、そんなにないかもしれませんが、しかし、子どもの時には多くの経験をさせて、そこから自分で考えてくれるようになればありがたいと思っています。もちろん命の尊さに気付く子どももいるでしょうから。

幸い、明倫小学校の校区には多くの自然があり、虫もたくさんいます。子どもの時に多くの経験をして、心豊かな子どもに育ってほしいと思います。



校長 池田 弘一

## 大連市訪問少年使節団とともに

私は7月26日から29日まで、舞鶴市の友好都市である中国大連市へ、舞鶴市の小学生代表12名とともに訪問する機会をいただきました。大連市中山区桃源小学校の子どもたちと友好を深めようと、高い志を持った舞鶴市の子どもたちといっしょに行動を共にし、有意義な4日間を過ごさせていただきました。

大連市の方々はとても友好的で、私たちをととても温かく迎えてくださいました。子どもたちはホームステイを1日お世話になったのですが、言葉の壁を乗り越えとても深い交流ができたようです。ホームステイの家族と別れる時、号泣する子どもの様子はとても感動的でした。このような経験ができたことは、子どもたちにとっても大きな財産となることでしょう。

舞鶴市と大連市は訪問と招待を交互に行っています。来年は招待する年です。このご恩がえしをしなければならないと考えています。